

滴一滴

子どもが風邪をひいて、小児科
医院に連れて行く。診察した医師
が「念のために抗生物質を出しま
すね」。そんな経験がある人は
多かろう。だが、来月から減るか
もしれない▼子どもの風邪と下痢に抗菌薬
(抗生物質)を使わずに指導すれば、医療
機関に支払う診療報酬を加算する。適正な
使用を促す仕組みを厚生労働省が報酬改定
に盛り込んでいるからだ▼抗生物質はウイ
ルスによる感染症には効かない。それどこ
ろか、使いすぎは薬の効かない耐性菌を生
み、世界的に問題になっている。2年前の
伊勢志摩サミットでも議題になり、日本政
府は使用量を2020年までに3分の2に
減らす目標を掲げた。今回の措置はその一
環である▼驚くのは、過剰な使用が耐性菌
を増やすだけでなく、肥満やアレルギー疾
患、糖尿病など、ここ半世紀ほどで増えた
「現代病」の背後にあると疑われているこ
とだ。山本太郎・長崎大教授の著書「抗生
物質と人間」で知った▼つまり、人が生き
るのに欠かせない体内の菌まで退治してい
る恐れがあるという。1940年代から普
及したペニシリン以来、抗生物質は多くの
命を救ってきた。しかし、頼りすぎのつけ
は大きかったとも言える▼一般市民も4割
以上が抗菌薬はウイルスに効くと誤解して
いるとの調査もある。これを機に、正しい
知識が広まるといい。